平成14年3月期 個別第1四半期財務諸表の概要



平成13年8月7日

会 社 名 株式会社 ノ ジ マ

登録銘柄

コード番号 7 4 1 9 本社所在都道府県

神奈川県

本 社 所 在 地 神奈川県相模原市横山一丁目 1 番 1 号

問い合わせ先 責任者役職名 執行役員 社長室長 兼 総務部長

> 氏 名 武邑 邦弘

TEL(042)753-1422(代表)

中間配当制度の有無 有

1. 平成14年4月期第1四半期の業績

(注)1.本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 本四半期決算短信の数値は、決算期又は半期のような会計上の修正をおこなっておりません。

(1)第1四半期の業績(平成13年4月21日~平成13年7月20日)

(百万円未満切捨)

	売 上 高	営業損失	経常損失
	百万円	百万円	百万円
当第1四半期	20,212	740	494

	当期純損失	1株当たり	潜在株式調整後	株主資本	総資本	売上高
	二 知 流 決 入	当期純損失	1株当たり当期純損失	当期純損失率	経常損失率	経常損失率
	百万円	円 銭	円 銭	%	%	%
当第1四半期	319	45 22		4.4	1.6	2.4

(注) 1.期中平均株式数 14年3月期

7,056,100株

2.会計処理の方法の変更 無

(2)財政状態

	総	資	産	株	主	資	本	株	主	資	本比	泛率	1株当	たり株	主資本
		百万	田			百	万円				%)		円	銭
当第1四半期	;	31,990			7,0	057				22	.0		100	0	16

(注) 第1四半期末発行済株式数 14年3月期 7,056,100株

2. 前事業年度の業績(平成12年4月21日~平成13年4月20日)

(百万円未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益
	百万円	百万円	百万円
前事業年度	87,511	1,444	2,507

	当期純利益	1株当たり 当期純利益		潜在株式 1株当たり当		株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	円	銭	円	銭	%	%	%
前事業年度	1,307	185	26	-	-	19.1	8.7	2.9

(注) 1.期中平均株式数

13年4月期

7,056,100株

2.会計処理の方法の変更 無

(2)財政状態

		総	資	産	株	主	資	本	株	主	資	本	比图	紅	1株当たり	株主資本
			百万	田			百	万円					%		円	銭
前	前事業年度	2	8,865			7,5	514				2	6.0			1,065	02

(注) 期末発行済株式数

13年4月期

7,056,100株

3.経営成績

(1) 当第1四半期の業績(平成13年4月21日~平成13年7月20日)

当第1四半期(平成13年4月21日~平成13年7月20日)におけるわが国経済情勢は企業業績の悪化を受けた雇用不安の拡がりと所得の伸び悩みから個人消費は低迷を続け、設備投資も米国景気の悪化を受けてIT関連投資を中心に落ち込みをみせるなど、全般的に盛り上がりに欠ける状況となりました。

当社を巡る業界も、昨年後半からPC市場が冷え込み、現在もこの状況が続いており、本格的回復には今暫く時間を要するものと思われます。一方デジタルカメラのような一部周辺機器は根強い需要の伸びが続いております。また、携帯電話につきましてはサービスメニューや機能の充実により底固い需要はありますが、次世代携帯電話の本格導入が本年10月にずれ込む見通しなどやや弱含みの状況に転じてきております。

こうした状況から、業界での競争はますます激しさを加え、情報・通信機器関連商品についても低価格化が一段と進んでおります。従って、収益力維持のためには、物品販売のみではなく顧客にトータルのサービスを併せて提供することで付加価値の拡大を図る施策が必要になってきており、同時にコスト削減等の経営効率化も喫緊の課題となってきております。このため、当社は引き続き通信、IT関連の各種サービス収入の増加を図るとともに、ローコストオペレーションを柱とする効率化の推進と子会社の効率化に注力するなど経営資源の有効活用による経営体質の強化に努めてまいりました。店舗展開としましては第1四半期にニュー厚木店をオープンすると共に、旧厚木店を閉鎖、店舗の効率化を実行いたしました。

なお、当社は明年4月に設立40周年を迎えることから、顧客への利益還元と合わせて顧客の支援に基く売上増を目的にポイントカード還元率を6月初めに従来の5%から10%に、又7月初めには商品別に10%から最大17%まで引き上げ、販売促進に努力いたしました。このような高率のポイントカード還元率はロードサイドの店舗としては始めての試みですが、顧客のお買い得No.1の価格と相対での不明朗な値引きを排したフェアな価格で商品を提供し、引き続きノジマの支援を期待しております。

但し、このポイントカード還元率の引き上げに伴う販促費の負担が先行することもあり、第 1四半期における売上高は20,212百万円、経常損失 494百万円、当期純損失 319百万円と なりました。今後、売上高の拡大、粗利益率アップ、経費の削減等の具体的施策を鋭意推進 販促費増加分の吸収に努めつつ、利益体質の維持と業績の拡大に努力する方針であります。

4.財務諸表

(1)貸借対照表

(単位:千円未満切捨)

	当第 1 四半期会計期間 (平成13年 7 月20日現	引末 在)	前事業年度の要約貸借対 (平成13年4月20日現	対照表 在)
	金額	構成比	金額	構成比
(資 産 の 部)		%		%
流動資産				
1.現金及び預金	6,692,220		4,630,958	
2.受 取 手 形	1,282,211		1,229,376	
3 . 売 掛 金	2,467,870		1,794,667	
4.た な 卸 資 産	8,743,604		9,074,742	
5.そ の 他	1,125,796		1,383,859	
6.貸 倒 引 当 金	15,161		15,161	
流動資産合計	20,296,541	63.4	18,098,441	62.7
固定資産				
(1) 有 形 固 定 資 産				
1.建物	2,163,964		2,167,617	
2. 土 地	1,203,705		1,203,705	
3.そ の 他	1,119,654		751,890	
有形固定資産合計	4,487,324	14.0	4,123,212	14.3
(2) 無形固定資産	429,902	1.3	106,613	0.4
(3) 投資その他の資産				
1 . 差入敷金及び保証金	4,675,908		4,683,369	
2.そ の 他	2,072,672		1,818,394	
3.貸 倒 引 当 金	25,587		25,587	
投資その他の資産合計	6,722,993	21.1	6,476,175	22.4
固定資産合計	11,640,220	36.4	10,706,001	37.1
繰 延 資 産	53,384	0.2	61,011	0.2
資 産 合 計	31,990,147	100.0	28,865,454	100.0

(単位:千円未満切捨)

			(単位:十円)	下心切话)
	当第 1 四半期会計期間 (平成13年 7 月20日現	引末 在)	前事業年度の要約貸借対 (平成13年4月20日現7	照表 王)
	金額	構成比	金額	金 額
(負債の部)		%		%
流動負債				
1.支 払 手 形	48,691		55,030	
2.買掛金	8,386,195		6,409,427	
3 . 短 期 借 入 金	3,167,919		2,267,144	
4 . 1年内返済予定長期借入金	2,380,432		2,195,312	
5.未 払 金	2,865,647		1,837,376	
6. 未払法人税等	45,648		735,728	
7. 賞 与 引 当 金	174,222		274,577	
8.そ の 他	677,241		429,263	
流動負債合計	17,745,998	55.5	14,203,857	49.2
固定負債				
1. 社 債	1,500,000		1,500,000	
2.長期借入金	4,745,004		4,745,212	
3. 役員退職引当金	99,980		96,980	
4. 退職給付引当金	557,198		531,807	
5. 預 り 保 証 金	284,735		272,727	
固定負債合計	7,186,919	22.5	7,146,727	24.8
負 債 合 計	24,932,918	78.0	21,350,584	74.0
(資本の部)				
資 本 金	1,529,572	4.7	1,529,572	5.3
資 本 準 備 金	1,945,518	6.1	1,945,518	6.8
利 益 準 備 金	80,227	0.3	70,287	0.2
その他の剰余金				
1 . 任 意 積 立 金	97,200		97,200	
2 . 当期未処分利益	3,346,926		3,775,246	
その他の剰余金合計	3,444,126	10.7	3,872,446	13.4
その他有価証券評価差額金	57,785	0.2	97,045	0.3
資 本 合 計	7,057,228	22.0	7,514,869	26.0
負債資本合計	31,990,147	100.0	28,865,454	100.0

(2)損益計算書

(単位:千円未満切捨)

(早位:十円7 										
	当第 1 四半期会計期間 (自 平成13年 4 月21 至 平成13年 7 月20] 目 目)	前事業年度の要約損益計 (自 平成12年4月21 至 平成13年4月20	·算書 日)日)						
	金額	百分比	金額	百分比						
売上高	20,212,441	100.0	87,511,361	100.0						
売上原価	17,123,315	84.7	74,493,954	85.1						
売上総利益	3,089,125	15.3	13,017,406	14.9						
販売費及び一般管理費	3,830,061	18.9	11,573,265	13.2						
営業(損失)利益	740,935	3.6	1,444,141	1.7						
営業外収益	312,624	1.5	1,327,703	1.5						
営業外費用	66,629	0.3	264,325	0.3						
経常(損失)利益	494,941	2.4	2,507,519	2.9						
特別利益	64,209	0.3	381,337	0.4						
特別損失	98,991	0.5	433,025	0.5						
税引前当期純(損失)利益	529,723	2.6	2,455,832	2.8						
法人税、住民税及び事業税	7,447	0.0	1,134,241	1.3						
法人税等調整額	218,117	1.0	14,397	0.0						
当期純(損失)利益	319,052	1.6	1,307,192	1.5						
前 期 繰 越 利 益	3,665,978		2,468,053							
当期未処分利益	3,346,926		3,775,246							